

記事のQRコードから『いいね!』 が送れます。～ご挨拶に代えて～

令和5年度特許庁技術懇話会 副代表委員／編集委員長 土橋 敬介

今年度の特技懇副代表委員／編集委員長の土橋敬介と申します。今年度の編集委員会は、私と編集後記に掲載しております5名の審査官の総勢6名の体制で進めて参ります。本号から来年度の5月号までが今年度編集委員会担当となる予定です。これから1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、表題にもありますとおり、今回の9月号では「いいね!」投稿用QRコードを試験的に導入します。

これは、一言で言えば紙に「いいね/ボタン」を擬似的に実装するための仕組みになります。記事末尾のQRコードをスマホで読みとって、web上のフォームから「いいね!」を選択して送信するだけの簡単操作です。ログインも不要ですので最短10秒(筆者調べ)で完了します。下図に概要をまとめましたので、ご一読ください。

スマホで読み取って…

いいね! をタップ

下にスクロールして送信をタップ

- ・ログイン不要で手軽に投稿
※匿名での投稿になります。記名でのご意見・ご感想は、特技懇サイトの問合せフォームをご利用ください。
- ・シンプルに「いいね!」と自由コメント欄のみ
- ・投稿した内容や投稿数は特技懇運営以外には見えません(執筆者へは一定期間後にまとめてフィードバック予定)

特技懇誌は長年にわたって、多彩な内容の記事を誌面に取りそろえて発行が続けられてきました。これは、歴代の編集委員会の尽力はもちろんのこと、会員を中心にさまざまな知識や経験をお持ちの執筆者の方々からいただいた多数のご寄稿によって支えられているものです。今後もできるだけ多くの方々から執筆のご協力をいただくことは、本誌の持続的な運営のために非常に大切ですので、そのために編集の立場から何かできることがないかと、就任以来漠然と考えていました。そんな折、執筆者の方から読者の反応に関心があるのご意見をいただき、その方向に可能性を感じて現状を見直してみました。一応、毎号の最後のアンケートや、本誌へのご意見を投稿するための問合せ窓口が用意されているのですが¹⁾、読後の感想を気軽に投稿するにはハードルが高い印象は否めませんでした。

そこで読者の皆様に、より使い勝手の良いレスポンスの手段を提供することを目指して検討を進め、スマートフォンで簡単にアクセスできるQRコードを採用することにしました。

今月号ではいくつかの記事について執筆者にご協力いただき、QRコードを掲載しております。

読者の皆様には、いいね!と思った記事にQRコードがありましたら、その「いいね!」、ぜひお手持ちのスマートフォンからお送りください。少しお時間があれば一言コメントも添えていただけるとありがたいです。皆様からいただいた投稿は、一定期間でとりまとめて執筆者の方々へフィードバックさせていただきます。

ある程度の反響をいただければ、今年度中は施策を継続したいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

1) 特技懇サイト (<https://tokugikon.smartcore.jp/>) でログインした後、会員サイトトップページが表示されたら左下の「お問合せ」下の「特技懇誌について」のリンクから、広報担当宛てのメール送信フォームにアクセスできます。